

士幌町 防災 ガイドブック

支え合いで、
安心安全を
共感するまちへ。



土幌町防災ガイドブックについて

このガイドブックは、浸水予測区域やその他の自然災害に関する情報を住民の皆さんに分かりやすく提供することを目的として作成したものです。

前半では、自然災害に対する心構えなどをまとめています。心構えをしっかりと身に付けいざというときに落ち着いた行動をとれるようにしましょう。

後半では、洪水ハザードマップ・土砂

災害ハザードマップを収録し、地図上に想定される浸水の深さや避難場所などを示していますので、ご確認ください。

災害はいつ発生するかわかりません。前もって家族会議を開き、避難場所の確認やそれぞれの役割分担、連絡方法などを決めておくといよいでしょう。

本ガイドブックはいつでも手の届く場所に大切に保管しておきましょう。

目次

防災情報

- P.1 避難情報の種類
避難所の種類
- P.2 災害の被害を軽減するために
- P.3 自主防災組織
要配慮者(避難行動要支援者)
- P.4 非常持出品&備蓄品チェックリスト
災害への備え ～日常生活で消費しながら備蓄する～
- P.5 指定避難所・指定緊急避難場所一覧

地震

- P.6 地震発生時の行動
- P.7 揺れの強さ
家屋・室内の安全対策

風水害

- P.8 風水害に備える
- P.9 風水害の危険度
洪水についての基礎知識
- P.10 風水害時の心得
気象庁の注意報・警報

土砂災害

- P.11 土砂災害の種類
こんな前ぶれ現象に注意!
安全に避難するために

ハザードマップ〈風水害・土砂災害〉

- P.12 土幌町全域・索引図
- P.14 市街地区(南町・中町・北町・西町)
- P.16 中土幌地区
- P.18 北中地区
- P.20 土幌南地区・佐倉地区
- P.22 西上地区・土幌北地区
- P.24 上居辺地区
- P.26 下居辺地区
- P.28 新田地区



防災情報

避難情報の種類

災害時には、土幌町から災害情報や避難指示などの情報を発信します。避難の呼びかけを受けたときは、速やかに命を守る行動をとりましょう。また、危険を感じた場合は自主的に避難しましょう。

警戒レベル	取るべき行動	避難の情報
5	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保※1 (土幌町が発令)
~~~~く警戒レベル4までに必ず避難!~~~~		
4	危険な場所から全員避難	避難指示 (土幌町が発令)
3	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難※2 (土幌町が発令)
2	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報 (気象庁)
1	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)

●警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。**警戒レベル5緊急安全確保**の発令を待ってはいけません!

●警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。

●避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は、**警戒レベル3高齢者等避難**で危険な場所から避難しましょう。

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

## 避難所の種類

### 避難所開設について

災害時に全ての避難所が開設されるとは限りません。

●地震の場合は建物の安全性を確認して開設を判断します。

●洪水の場合は避難対象地域に応じて避難所を開設します。

開設する避難所については、テレビ・ラジオ・防災メールや広報車など複数の手段でお知らせします。

### 指定避難所

災害発生時、または発生するおそれがある時に、避難者を収容し短期間の「避難生活をするための場所(公共施設等)」です。

### 一時避難所・指定緊急避難場所

災害発生時、または発生するおそれがある時に「一時的に避難する施設及び場所」です。

## ペットを連れての避難について

避難の指示があった時には、動物を連れて避難しましょう。

災害時は人も動物も興奮していますから、普段と違った行動を取ることも考えられます。リードは放さないようにしっかり持ち、キャリーバッグやケージはしっかり抱えて動物の安全に気を配りましょう。

避難所では、動物の世話やフードの確保、飼育場所の管理は飼い主の責任の下に行うことになります。衛生的な飼育管理を行うことはもちろん、周りの人に配慮したルールを作り、飼い主同士が協力して助け合いましょう。







# 防災情報

## 災害の被害を軽減するために

### 自ら守る 地域で守る

#### ●町民一人ひとりが地域防災の主役です

ふだんの防災活動、災害時の対応どちらも、家庭(自助)、地域(共助)、行政(公助)それぞれの取り組みが不可欠です。

そして、それぞれの連携によって、地域の防災力がさらに高まります。

### 自助 自ら備え、 いのちを守る

- 家屋の耐震化、家具固定
- 非常持出品、備蓄品の準備
- 避難場所、避難経路の事前確認
- 災害情報の収集・早めの避難



## 減災

### 共助 地域や隣近所が 助け合う

- 町内会や地域による防災訓練の実施
- 要配慮者(避難行動要支援者)の支援
- 避難所運営



### 公助 国や道、 市町村の取組み

- 行政による平時の防災活動
- 災害時の救援、救出、応援、復旧活動
- 復興事業



## 自主防災組織

住民の皆さんが協力して自分たちの身を守る「共助」は特に大切です。一刻の予断も許さないような状況では、行政の支援を待っている間に合いません。そのような時、隣近所の方と協力して、被害に遭った方を救助、救援することでお互いの身を守ることができます。そのためにも「自主防災組織」の存在は不可欠なので、設立をおすすめします。

#### ●自主防災組織とは

地域住民の方が連帯して防災活動を行う組織です。

#### ●活動の内容

- 平常時…防災知識の普及、防災訓練の実施など
- 災害時…情報収集、救出活動、初期消火活動、地域住民の避難誘導など

#### ●組織するためには

- 公民館や町内会単位など、活動しやすい単位で協議してみましょう。
  - 役場や消防などにご相談ください。結成までのお手伝いをいたします。
- ※結成後は組織の班長以上に、町から物品(ヘルメットや懐中電灯など)の貸与をいたします。



## 要配慮者(避難行動要支援者)

「要配慮者」とは、高齢者や障がい者、乳幼児など災害時に特に配慮を必要とする方のことをいいます。また、要配慮者のうち、災害時に自ら避難することが困難であり、特に支援を必要とする方は「避難行動要支援者」として位置付けられています。

避難行動や避難所生活などの様々な場面で助け合い、支え合いましょう。

#### 介助が必要な方



複数人で対応する。車椅子や担架を使うほか、緊急時はおぶって移動する。

#### 目や耳の不自由な方



音声や手話、メモなど、その人に伝わる方法で情報を伝える。

#### 観光客、外国人の方



土地勘のない人を避難場所などへ誘導する。言葉が通じない場合は身振り手振りなどで伝える。

#### 普段からの交流



災害時にスムーズな支援をするためには、日頃のコミュニケーションが大切。

## 災害や緊急時に備えて救急医療情報キット(専用容器)の設置にご理解・ご協力を

高齢者や障がいのある方が、自宅で具合が悪くなり救急車を呼ぶなど「もしも…」の時のために「救急医療情報キット(専用容器)」の設置を行っています。

また、「救急医療情報キット」が設置されているお宅のご近所にお住まいの方は「地域支援者」として日常の見守りや災害時の避難誘導にご協力をお願いします。







# 防災情報

## 『非常持出品』&『備蓄品』チェックリスト

**非常持出品** 災害時にすぐに持ち出せるように、準備しておきましょう。

必需品	携帯ラジオ	予備電池	飲料水	非常食
<input type="checkbox"/> 懐中電灯				
<input type="checkbox"/> タオル・毛布	<input type="checkbox"/> 衣類・下着類	<input type="checkbox"/> 救急セット	<input type="checkbox"/> 貴重品	<input type="checkbox"/> 薬・お薬手帳

**備蓄品** 最低3日分の準備をしておきましょう。(できれば7日分の備蓄を心がけましょう)

燃料	非常食品	必要に応じて準備しましょう
<input type="checkbox"/> 卓上コンロ <input type="checkbox"/> ガスボンベ <input type="checkbox"/> 固形燃料	<input type="checkbox"/> お米(レトルト・アルファ米も便利) <input type="checkbox"/> 缶詰・レトルト食品 <input type="checkbox"/> 梅干し・調味料 <input type="checkbox"/> ドライフーズ・チョコレート・飴	<input type="checkbox"/> ビニール袋・ティッシュ <input type="checkbox"/> ろうそく・マッチ・ライター <input type="checkbox"/> 洗面用具・生理用品 <input type="checkbox"/> 大人用紙おむつ・携帯用トイレ <input type="checkbox"/> 粉ミルク・ほ乳びん・紙おむつ <input type="checkbox"/> メガネ <input type="checkbox"/> 携帯電話充電器(電池式) <input type="checkbox"/> 雨具・軍手・使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> ヘルメット・帽子・マスク <input type="checkbox"/> ラップフィルム(お皿に敷くと洗う必要がない)

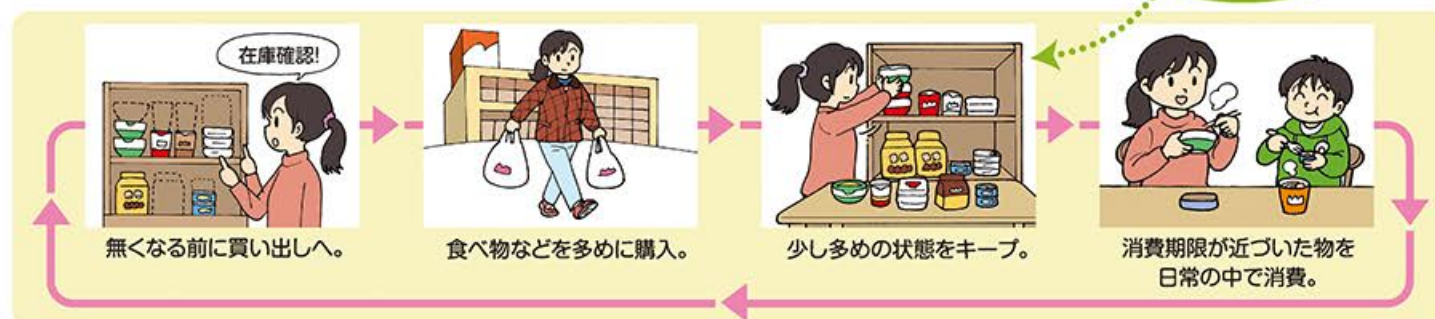
  

飲料水	その他
<input type="checkbox"/> ペットボトルや貯水した給水用ポリタンク 1人1日3リットル×3日分	<input type="checkbox"/> 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水) <input type="checkbox"/> 寝袋 <input type="checkbox"/> 各種アウトドア用品 <input type="checkbox"/> ポータブルストーブ(電池式)

## 災害への備え ～日常生活で消費しながら備蓄する～

災害に備え、食料等を備蓄する必要性を感じる方は少なくありませんが、数量の管理や消費期限の確認などを考えると、実際に備蓄を継続するのはなかなか難しいものです。

しかし、普段から利用しているカップ麺やレトルト食品等を少し多めに購入し、日常生活で消費しながら備蓄する「ローリングストック法」であれば、いざという時にも日常生活に近い過ごし方ができます。



## 指定避難所・指定緊急避難場所一覧

対象地区名	番号	施設名	住所	電話番号	避難場所 避難所の区分	災害種別		
						洪水 内水氾濫	がけ崩れ 土石流 地すべり	地震 火事
中士幌	1	中士幌公民館	中士幌西2線 80	7-4126	指定避難所	●	●	●
	2	中士幌小学校	中士幌西2線 88	7-4123	指定避難所	●	●	●
士幌南	3	農村運動公園野球場	士幌西2線 148		指定緊急避難場所	●	●	●
	4	南地区公民館	士幌西2線 148	5-2480	指定避難所	●	●	●
佐倉	5	佐倉交流センター	士幌東7線 132	5-4195	指定避難所	●	●	●
	6	コミュニティセンター	士幌 225	5-2211	指定避難所	●	●	●
	7	佐倉小学校 ※2020年3月まで	士幌東7線 132	5-2995	指定緊急避難場所	●	●	●
士幌北	8	北地区公民館	士幌西2線 178	5-2673	指定避難所	—	●	●
上居辺	9	上居辺へき地保育所	士幌東7線 175	5-3354	指定避難所	●	●	●
	10	上居辺小学校	士幌東7線 175	5-3334	指定避難所	●	●	●
下居辺	6	コミュニティセンター	士幌 225	5-2211	指定避難所	●	●	●
	11	プラザ緑風駐車場	下居辺西2線 134-10		指定緊急避難場所	—	—	●
北中	12	下居辺公民館	下居辺西2線 134-10	5-2370	指定避難所	—	—	●
	13	旧北中音更小学校グラウンド	中音更西3線 180		指定緊急避難場所	●	●	●
	14	川西へき地保育所	上音更西3線 182	5-3549	指定避難所	●	●	●
新田	15	中音更地区交流促進センター	上音更西4線 181	5-2969	指定避難所	●	●	●
	14	川西へき地保育所	上音更西3線 182	5-3549	指定避難所	●	●	●
西上	16	士幌高等学校	上音更 21	5-3121	指定避難所	●	●	●
	14	川西へき地保育所	上音更西3線 182	5-3549	指定避難所	●	●	●
市街 南町・西町	17	西上地区公民館	上音更西3線 227	5-4022	指定避難所	●	●	●
	18	南町公民館	士幌 228	5-3038	指定避難所	●	●	●
	19	農村運動公園駐車場	士幌西2線 150		指定緊急避難場所	●	●	●
	20	総合研修センター	士幌幹線 167	5-4733	指定避難所	●	●	●
市街 中町・北町	21	町営グラウンド	士幌幹線 168		指定緊急避難場所	●	●	●
	22	士幌小学校	士幌西2線 164	5-2251	指定避難所	●	●	●
	23	町民保健センター	士幌西2線 169	5-2108	指定避難所	●	●	●
	24	士幌デイサービスセンター	士幌西2線 169-5	5-3000	指定避難所	●	●	●
区分無	6	コミュニティセンター	士幌 225	5-2211	指定避難所	●	●	●
	25	中央中学校	士幌幹西1線 163	5-2442	指定避難所	●	●	●
	26	道の駅ピア21しほろ	士幌西2線 134-1	5-3940	指定避難所	●	●	●

※避難場所、避難所の区分記号  
 ※災害種別について  
 災害の対象とする異常な現象の種類別となっています。

指定避難所兼指定緊急避難場所 指定避難所 指定緊急避難場所 福祉避難所

洪水、内水氾濫 がけ崩れ、土石流及び地すべり 地震、火事



## 地震発生時の行動

地震の揺れを感じたら、どんな場所でも「あわてず、まず身を守る」ことが大切です。

### 地震発生

身の安全を確保

1～2分

3分

5分

10～15分

半日～3日

#### 緊急地震速報

- 震度4以上の揺れが予想される地域に対して発表されます。
- テレビ・ラジオ・携帯電話などから入手することができます。

- 発表から揺れが来るまで数秒から数十秒しかないため、速やかに身の安全を確保することが重要です。



- 頭を保護し、机やテーブルの下へ
- あわてず素早く火の始末
- 非常脱出口の確保

#### 揺れがおさまるのを待って

- 家族の安全確認
- 非常持ち出し品を用意する
- 火元を確認する
- 靴をはく



#### 余震に注意

- 周辺住民への声かけ



#### 正しい情報を集める

- デマを信じない
- 正確な情報を収集



#### 落ち着いて速やかに避難

- 火災防止の為、ブレーカーをおとす。
- 山崩れ、がけ崩れに注意
- 安全な避難経路の確認



#### 避難後は助け合いの心で

- 地域で協力して応急救護の体制を
- 災害情報、被害情報の収集
- 飲料水、食料の確保



### 停電時の備え

#### 備え① 安全に避難するためには

夜間の場合、出口がわからない、床の段差やガラスの破片が見えないなど、とても危険です。

リビングや寝室などに  
懐中電灯や足元灯を備えましょう。

懐中電灯と足元灯とを兼ね、停電や地震が起きた時に自動的に点灯するタイプが有効です。足元灯の設置が難しい階段などには、残光テープが効果的です。



#### 備え② 災害情報を確保するためには

インターネットや携帯電話などを利用できないおそれがあり、情報を得ることが困難になります。

ラジオや予備の電池を常備しておきましょう。  
停電時、屋内で救助を待つ場合や屋内での避難生活に備えて

家庭用医療機器等については必要な予備バッテリーを備え、停電時の電源の切り替え手順などを確認しておくことも必要です。

## 揺れの強さ

揺れの強さは震度で表されます。各震度の強さを知り、地震が起きたときの対処法を想定しましょう。

### 緊急地震速報(予報)

震度3



大半の人が揺れに気づく

震度4



大半の人が揺れに驚く

### 緊急地震速報(警報)

震度5弱



大半の人が物につかまりたいと感じる

震度5強



大半の人が行動に支障を感じる

### 緊急地震速報(特別警報)

震度6弱



立っていることが困難になる

震度6強



這わないと動けない

震度7



動けず、飛ばされることもある



## 家屋・室内の安全対策

被害をおさえるために家屋や屋内の点検をし、安全な環境をつくっておきましょう。

### 家の耐震化

耐震診断をし、必要があれば耐震化を行う。



### 壁や塀の点検強化

ひび割れ・破損の有無を点検し、補強する。



### 家具配置の見直し

倒れても安全なように、向きと配置を確認する。



### 避難経路の確保

出入口、避難経路に家具を置かない。



### 棚・タンスの固定

L型金具や支え棒で壁の桟や柱に固定する。



### 照明の固定

複数のチェーンで天井に止めて固定する。



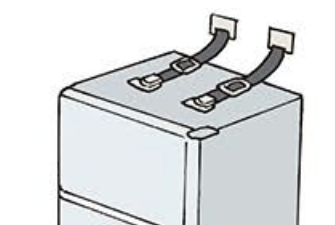
### テレビの固定

粘着マットなどを使い、固定する。



### 冷蔵庫の固定

上部を転倒防止用ベルトで固定する。

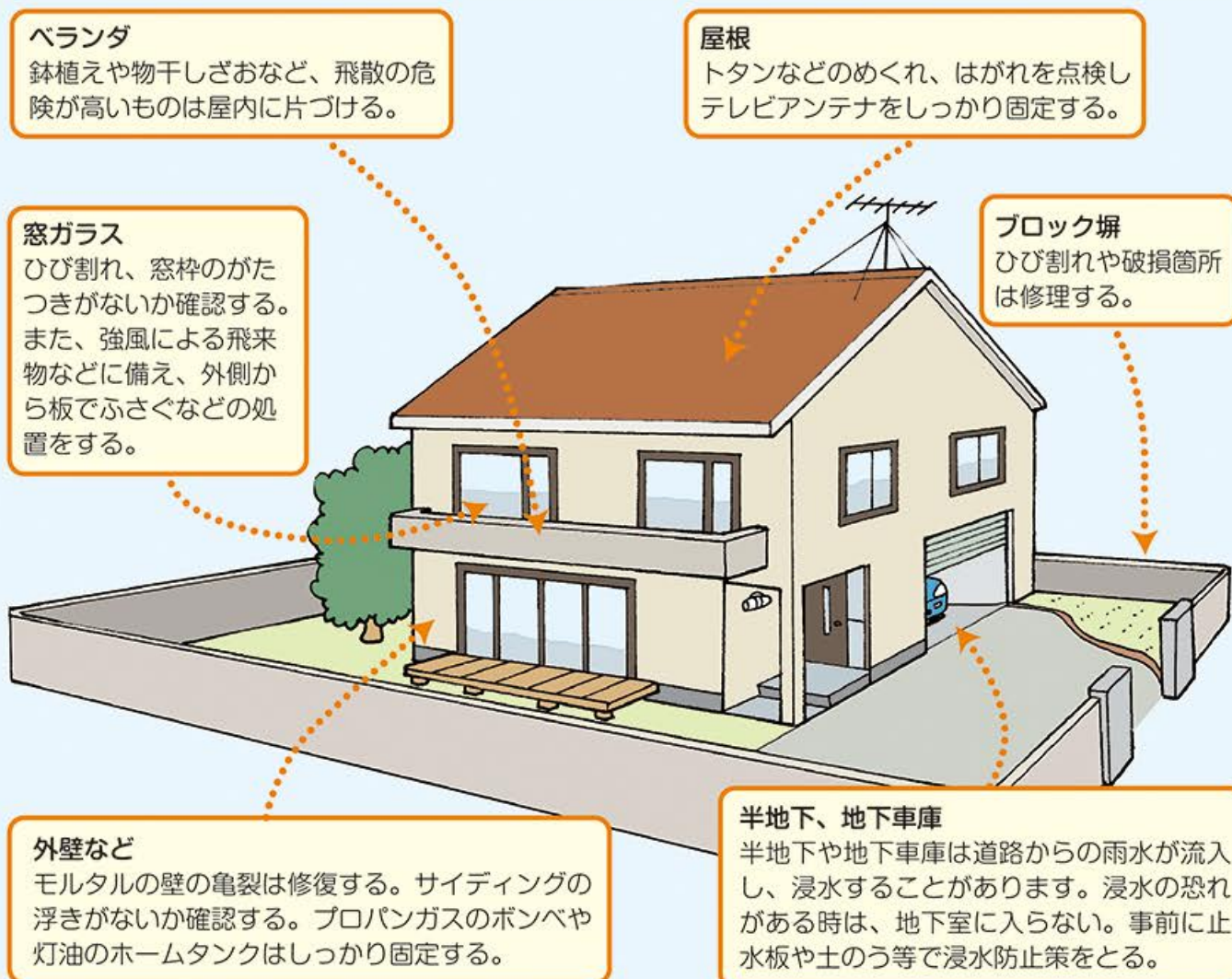






# 風水害

## 風水害に備える



雨や融雪により河川が増水し、洪水が起きることがあります。その場合には、避難に関する情報を町の判断で発表しますので、これらの情報に注意しましょう。

### 洪水・土砂災害の警戒レベル分け

危険度					
低い ←				→ 高い	
	警戒レベル1	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5
避難・防災気象情報など	早期注意情報 (気象庁)	大雨・洪水 注意報 (気象庁)	高齢者等避難 (市区町村) 大雨・洪水警報 氾濫警戒情報 (気象庁)	避難指示 (市区町村) 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 (都道府県・気象庁)	緊急安全確保
住民がとるべき行動	災害への心構えを高める	避難に備え、 避難行動を確認	危険な場所から 高齢者等は避難	危険な場所から全員避難	命の危険 直ちに安全確保!

## 風水害の危険度

### ●雨による危険度のチェックポイント



### ●風による危険度のチェックポイント



## 洪水についての基礎知識

### ●外水はんらん



### ●内水はんらん







# 風水害

## 風水害時の心得

近年、全国各地で台風や集中豪雨などによる洪水や土砂災害が発生しています。集中豪雨や暴風雪などによる災害はいつ起こってもおかしくありません。

士幌町でも過去幾度も大雨による被害を受けており、注意が必要です。

### 被害を減らす心得

- 日頃から気象情報を見て、天候の変化に注意しましょう。
- 屋外と屋内の大雨・強風対策をしましょう。
- 避難勧告などが発令されたときや、危険を感じたときはすぐに避難しましょう。
- 浸水時など状況によっては建物内に待機するほうが安全な場合もあります。状況により判断しましょう。

### 避難するときの注意

危険を感じたら自己判断で避難することも必要です。浸水や土砂災害が起こる前に、安全に避難するようにしましょう。

- 警報などが発表されなくても、危険を感じたら早めに避難する。
- 避難は複数人で、基本は徒歩で行う。
- 長靴での避難は避け、履きなれた靴で行う。
- 浸水しているときは、足元などを棒で注意しながら側溝や水路に注意する。
- 子どもはロープなどでつなぎ、はぐれないようにする。
- 浸水の状況によっては、頑丈な建物の2階以上へ避難する。
- 警報や注意報が解除されるまで、警戒を続ける。



### 雪による被害を減らす心得

- 天気予報で「数年に1度の猛吹雪」「外出は控えて」などの言葉があれば暴風雪に警戒を。
- 暴風雪のときは外出しないことが最も安全です。普段から家の中で安全に過ごせる準備をしましょう。



## 気象庁の注意報・警報

大雨や強風などにより災害が起こるおそれのあるときは「注意報」、重大な災害が起こるおそれのあるときは「警報」、重大な災害が起こるおそれが著しく大きいときは「特別警報」が発表されます。



### 注意報

最新情報に注意し、災害に備えて早めに準備しましょう。



### 警報

町が発表する避難情報に注意し、必要に応じ速やかに避難しましょう。



### 特別警報

避難情報に従い直ちに避難！外出が危険なときは、家の中でも安全な場所へ！



# 土砂災害

## 土砂災害の種類



### 土石流

山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象のことをいいます。



### がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

地中にしみ込んだ水分により斜面が不安定になり、雨や地震などの影響によって急激に崩れ落ちることをいいます。



### 地すべり

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。

## こんな前ぶれ現象に注意!

次のような現象を察知した場合は、土砂災害が直後に起こる可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難すると共に、関係機関へ通報してください。



山鳴りがする



雨が降り続けているのに川の水位が下がる



川の流が濁り流木が混ざり始める



小石がバラバラ落ちてくる



地面にひび割れができる



斜面から水がふき出す

## 安全に避難するために



土砂災害の危険がある場所、避難場所や避難経路を日ごろから確認しておきましょう。



土石流では、流れる方向に対して直角方向に逃げましょう。

### 土砂災害警戒情報について

大雨による土砂災害の危険性が高まったときに、避難の判断の参考となるよう、北海道と札幌管区気象台が共同で発表する防災情報です。この情報の発表いかんにかかわらず、危険を感じた場合は速やかに自主避難してください。

### 土砂災害危険箇所とは

土砂災害(急傾斜地のがけ崩れ・土石流・地すべり)のおそれがある箇所を、国土交通省が示した点検方法に基づき抽出し、北海道において危険箇所の位置図を市町村ごとに作成したものです。(土砂災害の発生箇所を決定するものではありません。)

該当する凡例	
危険箇所	土石流危険渓流



# わが家の防災メモ

▼記入しましょう!

ご家族のみなさんと話し合い、書き込んでおきましょう。

## 集合場所

家族、ご近所さんと決めましょう!

## 避難所

地図ページで確認しましょう!

## 家族・親戚・知人の連絡先・避難先

氏名	生年月日	血液型	既往症	会社・学校(電話番号など)	避難先

## 医療機関など

病院名	電話番号

## 緊急連絡先など

連絡先	電話番号

## 緊急電話

### 119 火災・救急の時は 緊急通報

落ち着いて、次の4つのことを伝えてください。

- ①火災か救急か ②住所や場所の目安  
③詳しい状況 ④通報者の名前・連絡先

### 171 災害時の連絡は 「災害用伝言ダイヤル」で!

災害発生時に利用できます。

「171」後はガイダンスに従って録音・再生を!

**録音** 171+1+自分の家の電話番号(市外局番から)

**再生** 171+2+自分の家の電話番号(市外局番から)

## 全国瞬時警報システム(Jアラート)

Jアラートとは、エリアメールや緊急速報メール等を通じて緊急情報を瞬時に国から住民へ直接伝達するシステムです。

### Jアラート によって伝達 される情報

- 弾道ミサイル情報
- 航空攻撃情報
- ゲリラ・特殊部隊  
攻撃情報
- 大規模テロ情報
- その他国民保護情報
- 緊急地震速報
- 気象等の特別警報

## 防災情報

### 士幌町のホームページ

<http://www.shihoro.jp/>



### 北海道防災情報

<http://www.bousai-hokkaido.jp/>



### 川の防災情報

<http://www.river.go.jp/>



### 士幌町防災メールシステム



左のQRコードを読み取り、空メール(件名・本文不要)を送信してください。数分後に「メールサービス本登録のご案内」という件名のメールが届きますので、指定されたURLにアクセスし、登録を完了してください。

※QRコード読み取りができない方は、[bousai.shihoro-town@raid-en.ktaiwork.jp](mailto:bousai.shihoro-town@raid-en.ktaiwork.jp)へ空メールを送ってください。

※空メールを送信できない機種では、本文に「あ」と入れて送信してください。

※迷惑メール防止機能をお使いの方は、登録する前に[asp-mail@shihoro.jp](mailto:asp-mail@shihoro.jp)からのメールが受信できるように設定してください。